

SPACE FX

24-Bit Stereo Multi-Effects Module with
32 Effect Algorithms for Eurorack

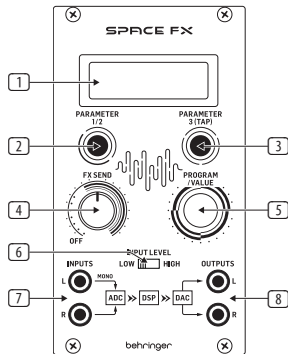
法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

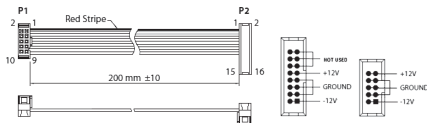
SPACE FX コントロール



コントロール

- ① **ディスプレイ画面** – この画面にはエフェクトプログラムのパラメーターおよびそれぞれの設定が表示されます。
- ② **PARAMETER 1 & 2 (パラメーター 1 および 2)** – 調節するパラメーターを、パラメーター 1 および 2 の間で切り替えます。デフォルトのパラメーター 1 を調節したら、コントロールスイッチを押してパラメーター 2 を調節します。
- ③ **PARAMETER 3 & TAP (パラメーター 3 およびタップ)** – このボタンを押すとパラメーター 3 の調節を選択し、またエフェクト種別によってタップコントロールとしても使用します (下のパラメーター表を参照)。
- ④ **FX (エフェクトセンド)** – このコントロールを使用して、完全に時計回りにしたときの FX の追加量を最小から最大効果まで調整します。
- ⑤ **PROGRAM/VALUE (プログラム / 値)** – このボタンで、使用するプログラムを選択し、ボタン 2 および 3 と併用してパラメーター値を調節します。
- ⑥ **入力レベル** – このスイッチで、Eurorack 信号の場合はローレベル入力を、ラインレベル信号の場合はハイレベル入力を選択します。
- ⑦ **INPUTS (入力)** – ステレオ入力または、モノラルの場合は左側のソケットに接続し、Space FX で処理します。
- ⑧ **OUTPUTS (出力)** – 処理済み信号を、ステレオで出力します。

SPACE FX ユーロラック モジュール接続ガイド



Connect end P1 to the module socket
Connect end P2 to the power supply

電源接続

モジュールには、標準の Eurorack 電源システムに接続するために必要な電源ケーブルが付属しています。以下の手順に従って、モジュールを Eurorack ケースに接続します。

1. 電源またはラックケースの電源を切り、電源ケーブルを外します。
2. 電源ケーブルの 16 ピンコネクタを電源装置またはラックケースのソケットに差し込みます。コネクタには、ソケットのギャップに合わせて配置されるタブがあるため、正しく挿入することはできません。電源装置にキー付きソケットがない場合は、ケーブルの赤いストライプをピン 1 (-12V) に向けて指定してください。

3. モジュール背面のソケットに 10 ピンコネクタを挿入します。コネクタには、正しい方向を取り付けるソケットに合わせて配置するタブがあります。
4. 電源ケーブルの両端がしっかりと接続されたら、モジュールをケースに取り付けて電源を入れます。

JP

取り付け

必要なネジは、ユーロラックケースに取り付けるためのモジュールに付属しています。取り付け前に電源ケーブルを接続します。

ラックケースによっては、ケースの長さに沿って 2 HP 間隔をあげた一連の固定穴や、個々のねじ板がケースの長さに沿ってスライドできるトラックが存在する場合があります。自由に動くねじ板はモジュールの正確な位置を可能にするが、各版はねじを取り付ける前にモジュールの取付け穴に近い関係で置かれるべきである。

取り付け穴のそれぞれがねじ付きレールまたはねじ板に合うように、ユーロラックレールに対してモジュールを保持します。ねじを途中で取り付けて開始し、位置を微調整しながら、すべての位置合わせを行います。最終的な位置が決まってきた後、ネジを締め付けて下ろします。

SPACE FX Effects and Parameters

JP

Effect	Parameter1	Values	Parameter2	Values	Parameter3	Values
Church	Decay	1 – 10 s	Shape	1 – 50	Damping	Bright, Dark
Concert 1	Decay	0.5 – 5 s	Chorus	1 – 30	Damping	Bright, Dark
Concert 2	Decay	1 – 5 s	Early Level	-12 - +12	Damping	Bright, Dark
Theatre	Decay	0.4 – 3 s	Depth	0 – 9	Damping	Bright, Dark
Room 1	Decay	0.5 – 5 s	Density	0 – 100%	Damping	Bright, Dark
Room 2	Decay	0.3 – 2.5 s	Pre-Delay	0 – 50 ms	Damping	Bright, Dark
Room 3	Decay	0.2 – 10 s	Pre-Delay	0 – 200 ms	Position	Front, Rear
Chamber	Decay	0.1 – 0.4 s	Size	1 – 30	Damping	Bright, Dark
Digiverb	Decay	0.4 – 4.5 s	High Damping	x0.25, 0.33, 0.5, max	Out Select	Front, Rear
Plate 1	Decay	0.5 – 3 s	Pre-Delay	0 – 40 ms	Damping	Bright, Dark
Plate 2	Decay	0.3 – 4 s	Pre-Delay	0 – 40 ms	Damping	Bright, Dark
Spring	Decay	1 – 4 s	Pre-Delay	0 – 150 ms	Type	Modern, Vintage
Gated 1	Decay	1 – 12 s	Pre-Delay	0 – 400 ms	Type	Alive, Gated
Gated 2	Decay	1 – 20 s	Pre-Delay	0 – 30 ms	Damping	Bright, Dark
Reverse	Decay	1 – 20 s	Pre-Delay	0 – 30 ms	Damping	Bright, Dark
Delay	Feedback	0 – 100%	Mode	Mono, Spread, PingPong	Tempo	72 – 500 bpm or Tap
Echo	Feedback	0 – 100%	Damping	0 – 50	Tempo	72 – 500 bpm or Tap
Ambience	Size	1 – 30	Tail Gain	0 – 100%	Damping	Bright, Dark
Early Reverb	Size	1 – 30	Diffuse	1 – 20	Damping	Bright, Dark
Chorus	Depth	-20 - +20	LFO Speed	0.05 – 5 Hz	LFO Wave	Sine, Triangle
Flanger	Depth	-20 - +20	Resonance	-100 - +100%	Tempo	5 – 400 bpm or Tap
Phaser	Depth	-20 - +20	Resonance	1 – 50	Tempo	5 – 400 bpm or Tap

Effect	Parameter1	Values	Parameter2	Values	Parameter3	Values
Pan/Tremolo	Depth	-100 - +100%	LFO Wave	Triangle, Ramp, Square	Tempo	5 – 400 bpm or Tap
Detune	Detune	-99 - +99%	Pre-Delay	0 – 300 ms	Damping	Bright, Dark
Pitch 1	Shift	-12 - +12	Pre-Delay	0 – 300 ms	Detune	0 – 20%
Pitch 2	Shift A	-12 - +12	Shift B	-12 - +12	Spread	Narrow, Wide
Delay + Chorus	Balance	-50 - +50%	Chorus Depth	-20 - +20	Tempo	75 – 500 bpm or Tap
Delay + Reverb	Balance	-50 - +50%	Reverb Decay	1 – 5 s	Tempo	114 – 500 bpm or Tap
Chorus + Reverb	Balance	-50 - +50%	Reverb Decay	1 – 5 s	Chorus Depth	Soft, Deep
LFO Filter	Vowel 1	A, E, I, O, U	Vowel 2	A, E, I, O, U	Tempo	5 – 400 bpm or Tap
Talkbox	Decay	0.4 – 3 s	Depth	0 – 9	Tempo	5 – 400 bpm or Tap
Clipper	Distort	1 – 100	Low Cut	50 – 500 Hz	Damping	Bright, Dark

技術仕様

入力	2x3.5mm アンバランスジャック 入力インピーダンス >22 kΩ
出力	2x3.5mm アンバランスジャック 出力インピーダンス 330 Ω
画面	カスタム 8 文字表示
コントロール	
ノブ	パラメータ 1/2 パラメータ 3 / タップ FX 送信 プログラム / 価値
スイッチ	高 / 低ゲイン 高ゲイン: +2 dB 低ゲイン: -6 dB
消費電力	90 mA (+12 V) / 25 mA (-12 V)
ユニットサイズ	71 x 129 x 41 mm / 2.8 x 5.08 x 1.6" 14 馬力
単位重量	0.125 kg (0.276 ポンド)
パッケージ重量	0.218 Kg (0.481 ポンド)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の

選択: ユニットの電源ソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You